

コロナ下で始まった 学習支援 - 公立はこだて 未来大学の場合 -

公立はこだて未来大学情報ライブラリー
栗谷禎子(あわやさちこ)



大学図書館に求められる機能・役割

1. 学修支援及び教育活動への直接参与
ラーニング・コモンズ
2. 研究活動に即した支援と知の生産への貢献
機関リポジトリ
3. コレクション構築と適切なナビゲーション
電子ジャーナル、的確で効率的なアクセスの確保
4. 機関・地域等との連携および国際対応
学内や地域の多様な組織・機関との連携

公立はこだて未来大学の概要と規模

情報系単科大学

システム情報学部 ┌ 情報アーキテクチャ学科
└ 複雑系知能学科

学部生：約1,000名 大学院生：約100名

教員：約70名



情報ライブラリーの紹介

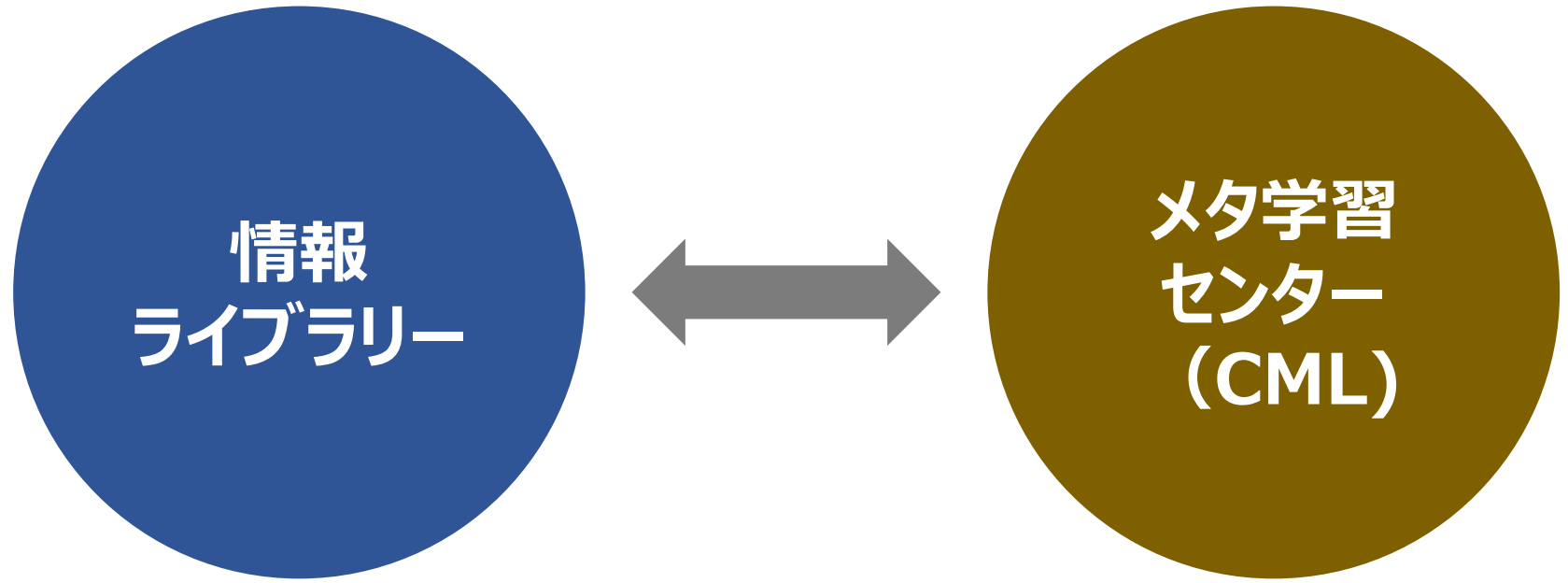
蔵書数

- ・ 紙の本：約95,000冊, 紙の雑誌：約500種
- ・ 電子ジャーナル：約4,000種
- ・ 電子書籍：約60,000冊

開館時間：9:00～18:30 (8:45～22:00)

職員：3名

はこだて未来大学の学習支援体制



- 専門の職員（司書）がライブラリーの資料や資源（場・人）を使って学習を支援
- 専門の教員が学生の学習を支援
- メタ学習ラボの運営

メタ学習ラボ

- ・ピアチュータリングによる学習支援組織
- ・予約制、マンツーマン、相談時間は1時間
- ・コロナ禍以降はオンラインのみで活動



MetaLearningLab@FUN

【メタ学習ラボ】 教え合い、学び合う。学生による学生のための学習支援

TOP

メタ学習ラボとは▼

採用情報▼

利用方法

予約▼

「2021年度前期開室のお知らせ」

「メタ学習ラボ」は2021年度前期はオンラインで学習支援を行っております。ぜひご利用ください。

<開室期間>2021年4月19日(月)～2021年7月27日(火)

<予約の方法>HOPEから、「公立はこだて未来大学 > メタ学習ラボ(MLL) > チュータリング予約 (MLL Tutoring Online Reservation)」へ

※ 予約は、2021年4月16日(金)から可能となります。

※ 2021年度前期はウォークイン（予約なしの利用）はありません。



背景

はこだて未来大学・函館市の状況（R3.4月）

- ・入学式は対面実施、新入生のみ参加
- ・オリエンテーションは一部を除きほぼオンライン
- ・前期の授業はオンラインと対面で実施予定
- ・サークル活動は停止中
- ・函館市内の感染者数は比較的少ない状態で推移

学生（特に新入生）に対する懸念

- ・孤立、孤独
人間関係を築く機会がない、自宅にこもりがち
- ・大学生活や学習への不安
自分で解決できない、質問できない

「先輩サポーター」開始までの道のり

- 自習、オンライン授業受講のための登校可（4月上旬）
**自習スペースとして、
情報ライブラリー閲覧室、と
講義室（1室）、を開放**
- 特に新入生の自習をサポートできないか、検討要請
キーワード：**気軽さ、対面**
- メタ学習センターと安全な実施方法を検討開始
- **「先輩サポーター」導入の提案**
チューター＋サークルの先輩のような存在、
授業以外のことも気軽に聞ける、雑談ができる存在

「先輩サポーター」開始までの道のり

- 4/19（授業開始日）からの運用開始を目指す

メタ学習センター	先輩サポーターの確保と指導、 運営方法の検討、 業務ガイドの作成など
情報ライブラリー	場としての環境整備、 安全対策の実施、 広報など

- 「先輩サポーター」は15名を採用（学部2年生～
修士1年生）
選考方法：成績と志望動機
- 4/16（履修登録開始日）にプレオープン

「先輩サポーター」のしくみ

- ・ 前期授業期間中(4/19～8/3)、平日3～5限に先輩サポーターが閲覧室の決まった場所に常駐
- ・ 先輩サポーターは2名1組
- ・ 学生は直接先輩サポートのところに外向いて相談
- ・ 相談内容は、日々の学習・授業全般、大学生活に関することなんでもOK
- ・ 対面形式
- ・ 予約不要
- ・ 「先輩サポーター」はボランティアではなく、謝金対応

「先輩サポーター」の認知度向上

当初はあまり利用がなかった

- ・ 学内であまり認知されていないのではないか
- ・ 上級生への相談はハードルが高いのではないか
- ・ 待っているだけでは相談者は来ないのではないか

手分けして広報活動

メタ学習センター	1年生の必修科目担当教員 への働きかけ
情報ライブラリー	ウェブサイト、メール、ポスター
先輩サポーター	ビラ配り、TAが授業内で宣伝



先輩サポーター利用案内

学習に関するその
質問、先輩サポ
ーターが答えます。
(予約不要)

先輩サポーターが学習相談に応じます。お気軽にご利用ください。

(1) 相談日時：平日午後 1 時 10 分～午後 6 時

(2) 場所：情報ライブラリー自習スペース

(3) 相談内容：

- ・ manaba、HOPE、Slack の使い方がわからない
- ・ VEP の進め方がわからない
- ・ Processing の書き方がわからない
- ・ 情報表現入門の課題提出方法がわからない
など、日々の学習・授業全般に関すること

情報ライブラリー

ビラ

試験勉強ウィーク

更新日:2021/5/31

解析学・線形代数学

中間試験のための勉強ウィーク

中間試験のための勉強ウィークを実施中です。

特に、解析学、線形代数学に関する相談に応じます。

それ以外の科目についても通常どおり相談に応じますので、わからないことなどがありましたら、お気軽にお越しください。お待ちしております。

「解析学・線形代数学 中間試験のための勉強ウィーク」

期間：5月28日（金）～6月7日（月）

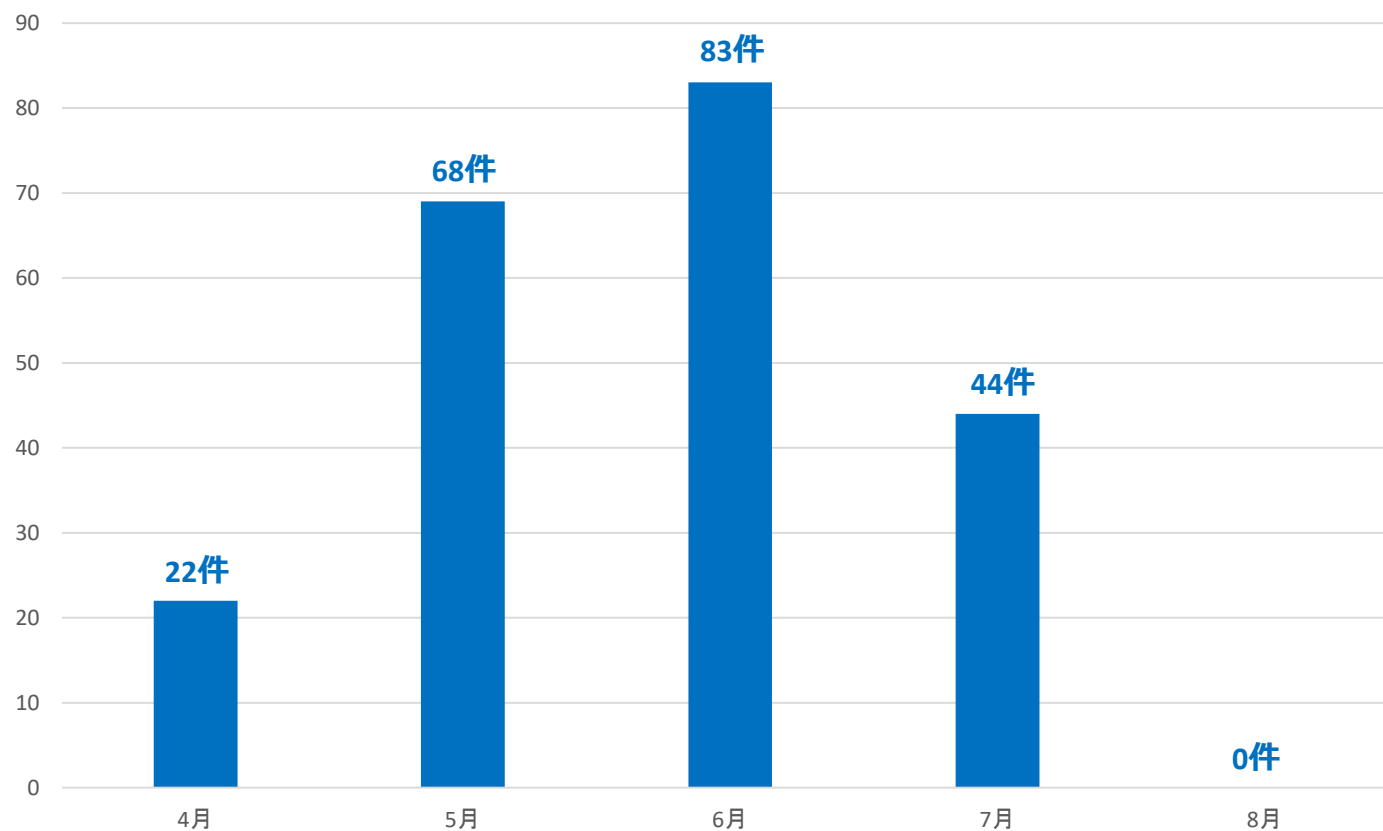
時間：午後1時10分～午後6時

場所：情報ライブラリー自習スペース

ウェブサイト

実施結果

総相談件数：218件



関係者間の情報共有

- 先輩サポーターは相談内容と対応をスプレッドシートに記録（各自でいつでも確認できる）
- 教員がフィードバックを記入
- 毎週木曜日昼休みに原則全員参加でミーティング（オンライン、Slack）
- ミーティングでは、一週間の相談内容と対応をすべて報告
- 多種多様、質の異なる相談内容を確認
- 解のない相談への対応方法はみんなで話し合う
- 世間話、雑談の推奨

特徴を活かした支援体制

メタ学習センター

- ・ 専門教員がいるからこそ可能な支援
先輩サポーターの指導、
専門的・具体的なアドバイス、
教え方勉強会の実施など
- ・ 学習支援に関するノウハウの活用
蓄積に基づくフィードバック、
さまざまな効果・狙いの設定

勉強会の様子



情報共有



特徴を活かした支援体制

情報ライブラリー

- ・ アクセスしやすく、快適で開放的な空間
ガラス張り、
Wifi・冷房完備、
相談の様子が見える・聞こえる、
- ・ 自習スペースとしての認知度の高さ
- ・ 学習に必要な資料が揃っている
自習・相談・本を借りる、ことが動線として自然
- ・ 先輩サポーターとの距離の近さ、リアルの利点を
活かしたきめ細やかなサポート

良かったこと・実感したこと

- ・ 困っている学生たちを支援することができた
- ・ やりがいを感じる先輩サポーターが多かった
- ・ ライブラリーを利用する習慣の定着
- ・ 学生との交流が生まれた
- ・ 学生が苦手意識をもつ授業科目を把握できた
- ・ 学習支援の方法を学ぶ機会となった
 - 今後のサービスを考える上でのヒント
- ・ 他の部署・組織との連携・協力が肝要（教務担当、学生支援担当、工房など）



工房作：未来大学特製衝立

課題

- 気軽さゆえの駆け込み相談への対応
- メタ学習ラボとの線引きがあいまい
 - 先輩サポーターの負担増への懸念
- 相談することにハードルを感じている学生への対応
- ニーズの把握
 - 学生たちはなにに困っているのか
- 後期の実施については、検討中
 - コロナの感染拡大状況、新入生の状況変化

特に情報ライブラリーが実践したこと

当事者全員にとって初めての取り組み、試行錯誤の連続

(1) 対面に対話できる場づくり

- ・ 閲覧室の奥→ 閲覧室の手前→ 閲覧室の奥
先輩サポーターとともに最適な場を模索
- ・ 安全の確保

(2) コミュニケーション

- ・ 先輩サポーターとの対話（リアル）を大切にすることで、オンラインでの情報共有には上がらない声を聞く
- ・ 先輩サポーターを精神面で支える

実践することの大切さ

(1) 実践する、観察する、分析する

実践するからわかることがある。

- ・なぜやっているのか。
- ・そこからなにを得られるのか。

(2) 当事者間で語り合う

- ・相互理解が深まる。
- ・関わった人たちがそれぞれの立場から語り合うことで顕在化することがある。
- ・発見、課題、目的が見つかり、共有することで、当事者間の協働的関係を構築する。

教科書やマニュアルのない時代。
各大学、図書館により支援のあり方は
それぞれです。

みなさんの図書館の特徴はなんですか？
どのような支援を実践しますか？

ご清聴ありがとうございました